

# 自己評価報告書

(令和3年度)

令和4年1月

学校法人 さくら学園

慈恵福祉保育専門学校

## I 現 況

- 1 学 校 名 慈恵福祉保育専門学校
- 2 所 在 地 〒444-0931 岡崎市大和町字中切 1 - 9
- 3 電話番号 TEL 0564-32-8811 FAX 0564-32-8813 <http://sakura-g.ac.jp/>
- 4 沿 革

1994(平成6)年 開校「慈恵福祉専門学校」介護福祉科

2004(平成16)年 福祉保育学科(3年コース)を新設

2006(平成18)年 保育学科を新設

1962(昭和37)年 福祉保育学科(2年コース)を新設

1976(昭和51)年 名称変更「慈恵福祉保育専門学校」

2017(平成29)年 児童教育専攻科を設置

2017(平成29)年 福祉保育学科募集停止

2007(平成29)年 留学生受け入れ開始

2021(令和3)年 福祉保育学科廃止

## 5 学科と学生数

	1年	2年	合計
介護福祉科	37	33	70
保育学科	33	13	46
合 計	70	46	116

## 6 教職員数

校 長 岩瀬せつ子

学 監 久米 明美

教 員 9名

講 師 30名

事務職員 4名

合 計 43名

## 7 施設概要

学科教室	6	入浴実習室	1	リズム室	1
合同教室	1	介護実習室	1	個人レッスン室	3
多目的ホール	1	演習室	1	パソコン室	1
エントランス ホール	1	自習室	2	保健室	1
家政学実習室	1	ピアノ室	1	相談室	1

## II 評価基本方針

### 1 評価の目的

- ・心豊かで自立心に富み、社会貢献できる人材を育成する。
- ・徹底した実技指導をして技術を習得させ、質の高い職業教育ができる学校運営を改善するために行う。

### 2 評価の基準

- ・制定した教育目標や計画に照らし、下の4段階で評価する。  
適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1
- ・学内アンケートを行う。

### 3 評価の公表

学校評価の結果は、「学校ホームページ」にて公開する。

### 4 評価結果の活用

- ・評価委員会において、課題の洗い出しを行い次年度に向け目標を設定する。

- ・全教員共通認識のもと、役職・教務・学生指導・校務の分業単位で改善に取り組む。

## 1 学校の教育目標

本校は、「心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材を育成する」という教育方針に基づいて教育を行っている。具体的な教育目標として次の2項目を掲げている。

- (1) 人として生きてゆくための人格形成の場として、「介護・保育現場では答えは一つではない。」ことを自覚し、おかれている状況を分析し、考え柔軟に対応できるようになるための教育支援をする。
- (2) 本校の4つの専門学科(介護福祉学科・保育学科・福祉保育学科・児童専攻科)における専門的な技術が、生涯を生きる支えや心の糧となるように、それぞれの学科・学生の実態に応じた学習支援をする。

## 2 本年度の重点目標

27年の歴史と伝統を守りながら、時代の流れや社会のニーズに対応した改革心を持ち、社会に貢献できる人材の育成に努める。特に、校訓「自己覚知」に込められた自身をしっかりと知り、改善すべきところは改善し、常に相手を思いやり相手の立場に立ち慈しみの心を根底において教育支援をする。

## IV 評価項目の達成及び取組状況

### <教育理念・目的>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育その他の教育指導等の特色が押さえられているか	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・非常勤講師等に周知されているか	4	3	2	1

・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---

①課題

- ・前項 1、2 に基づき、教職員全員が共通理解の下に実践する。

②今後の改善方策

- ・本校が目指す教育方針の理解を求める知らせを、学生及び保護者の意識や価値観を想像しながらできるだけ丁寧に周知していく。

③特記事項

<学校運営>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
・ 学生の健康管理を行う組織体制を整備し運営しているか	4	3	2	1

①課題

- ・ 職員の休日出勤における振替休日が十分取れていない現状がある。

②今後の改善方策

- ・ 勤務体制の見直しにより、振替休日が取れるように改善に努める。

③特記事項

- ・ コロナ禍において学生の健康管理の組織体制の整備を更に強化する。

- ・職員室の IT に関しては環境整備の改善に取り組んでいる。
- ・情報の共有化と守秘義務の遵守体制を構築する。

### <教育活動>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針の周知を図っているか（学生・教職員・HP による外部への周知等）	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体、卒業生等の意見を聞く機会を設け、教育課程を編成しているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等と連携して実践的な職業教育が実践されているか（実習事前・事後の打ち合わせを行う）	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・講義、演習などにおけるアクティブラーニングを展開しているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等と連携をして実習、実技、演習を行っているか（巡回指導教員と実習指導者が連携を図り各段階における「達成目標・課題」について確認している）	4	3	2	1
・職業教育において人材育成像が示す能力が身につくような取り組みを行っているか（カリキュラムに沿った授業・シラバスに沿った授業を実施しているかの調査を行っている）	4	3	2	1
・倫理的行動（身体拘束禁止・虐待防止・ネグレスト）について考える機会を導入しているか	4	3	2	1
・障害者・障害児に関する基本的な知識・技術を習得できるプログラムを導入しているか	4	3	2	1
・自立支援や予防を目的に潜在能力を引き出す技術が身につくプログラムを導入している	4	3	2	1
・専門分野における資格、要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1

・教員の資質向上への取り組み、施設、保育園などと連携した研修会を行っているか	4	3	2	1
・教員の資質向上への取組として授業評価を行っている	4	3	2	1
・必要な組織体制を整備しているか	4	3	2	1
・成績会議、単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定めており、適正に運用しているか	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・コロナ禍のため、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出状況によりアクティブラーニングが十分導入できていないため、状況を鑑みてなるべく多くの科目に取り入れる努力をする。
- ・到達目標に対しての評価を課題としてあげ臨んできたが、実施できていない科目がある。
- ・施設、保育園などとは個別に資質の向上に努めているが、限られた施設、園であり、またコロナ感染状況にて拒否される施設、園がある。
- ・授業評価の実施。(コロナ禍もありなかなか難しい状況にある)
- ・職員の能力開発のための研修機会・研修時間の確保。

### ②今後の改善方策

- ・教職員がアクティブラーニング導入の必要性を周知する(コロナの感染状況が落ち着いている時期に実施するよう努める)。
- ・講義録に目標達成記入欄を設け、評価できるようにしたが、記入されていない科目があるため、再度講師会にて周知できるようにする。
- ・コロナ状況で困難な状況ではあるが、多くの施設・園と研修が行えるよう年間計画を作成し取り組めるように努める。
- ・授業評価において毎回小テストにて確認できるよう取り組んでいるが、小テストが行えていない科目もあり、再度周知できるよう努める。
- ・講義録内に授業評価を加え、分析している。
- ・教職員自らの専門分野等の知識・技術向上を図る。

### ③特記事項

- ・介護福祉学科においては、留学生が入学しており質の向上を図るためにグループ分けをし、授業外でレベルに応じた日本語学習を取り入れている。
- ・各学科の特色を持ったカリキュラムを組んでいる。
- ・保育士・介護福祉士以外にも多くの資格が取得できるよう取り組んでいる。
- ・実習において実習指導者と巡回指導教員との連携を密にし、指導にあたっている。  
今年度はコロナの影響で巡回においてリモート対応も実施している。

### <学生指導等>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 基本的生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・ 学生、留学生に対する相談体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1
・ 学生・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・留学生のアルバイト管理の徹底を図るよう努めているが、アルバイト計画だけでなく実施状況の把握に取り組んでいるが、計画止まりで、実施状況の把握が不十分である。
- ・留学生の健康管理、寮の衛生面の管理を強化する必要がある。(コロナ感染対策においては、特に指導の徹底を図る必要がある。)
- ・学生による保護者への伝達不足により、周知できていない出来事があったことから、保護者との連携をより強化する必要がある。

### ②今後の改善方策

- ・アルバイト計画・実施状況に関して週の初めに留学生に確認をとり把握するよう努める。
- ・留学生との個別面談及び必要であれば寮を訪問し生活・健康状況を確認し指導をする。
- ・家庭との連絡を一層密に行い、必要であれば家庭訪問を行う。

### ③特記事項

- ・学生からの要望・不満等、前期・後期でアンケートを実施し対応している。



- ・保護者との連絡も密にしており、家庭と学校とが情報を共有し相談活動を充実させることで、学生の健全な育成に努めている。
- ・留学生に対し、適切な対応ができるよう担当者を付け役割分担している。

### <学習成果>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・ 学生が身に付けた学修成果は、目標とする水準にあるか	4	3	2	1
・ 目標達成が十分でない場合、教育活動などの改善を図っているか	4	3	2	1
・ 就職支援・相談体制を確立し、就職率向上に十分取り組んでいるか	4	3	2	1
・ 就職率は目標とする水準にあるか	4	3	2	1
・ 離職率や職場定着率を改善する取組をしているか	4	3	2	1
・ 国家試験受験対策の体制を確立し、合格率向上への取組を行っているか（介護福祉学科）	4	3	2	1
・ 国家試験の合格率は目標とする水準にあるか（介護福祉学科）	4	3	2	1
・ 退学率低減への取組を実施し、目標とする水準にあるか	4	3	2	1

#### ①課題

- ・ 学習面において目標水準に達成していない学生が存在する（留学生を含む）ため、改善する。
- ・ 介護・保育に関しては多くの求人があり、引く手あまたの状況であることより、学生に適した施設・園への就職へと結びつけることが必要である。
- ・ 国家試験合格率に関して、留学生においては、文章の読解が難しく、目標水準には到達していない。
- ・ 学生の家庭、人間関係事情等悩み事を早期に把握し、退学者を防ぐ。

#### ②今後の改善方策

- ・ 個別対応として、分かりやすく砕いて説明し、理解できるように対応する。
- ・ 卒業生の動向を施設・園等訪問の際、しっかりと把握する。退職している場合は、本人の希望により、関わりを継続しフォローアップする体制を整える。

- ・日本語の応力を高めるとともに、能力段階を増やした対応で努めていく。
- ・退学者理由は、学習意欲の欠如、家庭の事情、不登校など多様である。学生を多面的に理解し、些細な変化も見逃さず、家庭との連絡を一層密にしながら担任と学校全体とで組織的対応をしていく。

### ③特記事項

- ・就職指導は、卒業生による講話、模擬面接等採用試験対策を実施している。また、就職希望施設・園へはボランティアに行き、自ら見学・体験することで各学生に適合した施設・園を決定するよう導いている。そのため、しっかり情報を得、納得して決定しているため、離職率は低い。今年度はコロナの影響でボランティア活動の制限もあり、十分希望施設・園を理解できているとは言えないが、学校側が持っている情報・先輩からの情報を得て就職先を決定している。
- ・進路結果は、年度ごとにまとめ、全職員が周知している。
- ・学習能力が原因で継続が困難な学生については、保護者・学生と密に連携を図り本人が希望する方向へ進んでいけるよう努めている。

### <学生支援>

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生の経済的側面に対する支援制度を整備し、適切に運用しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制を整備し、適切に運営しているか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・コロナ禍による経済面への影響を受けていないかを担任が、面談などして把握をしているが、十分に情報収集できているか不明。
- ・学生の家庭状況・経済状況により就学が困難になった場合、可能な限りの支援策について教員全員が情報共有する。
- ・コロナ禍の状況の為、今年度は2/19にリモートで同窓会の開催をおこなう。
- ・留学生の生活環境の把握。

### ②今後の改善方策

- ・引き続き担任・副担任の面談及び、相談窓口を設け伝えやすい環境を作る。

- ・職員会議にて担任から早期に情報提供をし、職員全員で共有し対策に取り組む。
- ・コロナ禍が収束した場合、卒業生が興味を持てる卒後教育などを取り入れ、多くの同窓生が出席できる会とする。(コロナが収束して実施することが望ましいといえる。)
- ・留学生に承諾を得て、今後も定期的に自宅訪問をし、生活環境を把握する。

## <教育環境>

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を図書室に配架し、学生に必要なに応じ閲覧できるような環境を提供しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・スマートフォンにおける語彙等の検索を実施し、図書室が十分活用されていない。
- ・法人内において、幼稚園 保育園 デーサービス グループホーム等の実習先があるが、さらに踏み込んだ実習内容の整備が必要。
- ・避難訓練の内容、回数をマンネリ化させない。
- ・大規模災害への対策が十分検討できていない。

### ②今後の改善方策

- ・スマートフォンによる検索により、情報を得ることは可能ではあるが、魅力ある図書室となるよう、今後も多くの文献、雑誌等を整備する。
- ・消防署と連携した災害訓練を計画し実行する。

### ③特記事項

- ・Wi-Fi 環境を整えたため、コロナ禍であってもリモート授業がスムーズにできるようになった。しかしながら、対面授業と比較すると習得度は低いといえる。  
リモート授業後、確認をし補いをする必要がある。
- ・各トイレの洋式トイレを保温便座とし、感染予防のため消毒の徹底を図っている。
- ・感染予防のため、マニュアルを作成し、消毒の徹底に努めている。

## <入学者の募集、入学選考>

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 入学者受け入れ方針を明確にしているか	4	3	2	1
・ 入学者募集活動入学者受け入れ方針に従って適正かつ効果的に行っているか	4	3	2	1
・ 入学選考方法を明確に定め、適正に運用しているか	4	3	2	1
・ 入学手続きは適正に行っている	4	3	2	1

### ① 課題

- ・ 介護福祉学科の留学生の受け入れ基準を明確にする必要がある。

### ②今後の改善方策

- ・ 本校独自の魅力をPRする。

### ② 特記事項

- ・ 今までの教育のノウハウを活用し、魅力的な教育内容の整備に尽力する。

## < 財 務 >

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・ 介護福祉学科においては留学生を今後も受け入れていくが、多国籍となるため文化の違いなどにも十分配慮する必要がある。

### ②今後の改善方策

- ・ それぞれの国の文化を理解し、日本の文化にも触れながら、卒業後社会に順応出来るよう努めていく。

### ③特記事項

- ・公認会計士による会計監査、規程に基づいた内部監査を行い、適正に実施されている。
- ・財務情報の報告はホームページで公開している。

### <コンプライアンス等>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・学校評価の実施と結果の公開はしているか	4	3	2	1
・学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、結果を公開しているか	4	3	2	1

### ①課題

- ・学生間の SNS の利用により、学校が把握しきれないところで、個人情報(顔写真等)がネット上に流れてしまう事例等を防止する。

### ②今後の改善方策

- ・行事の写真閲覧等に関しては、必ず本人の同意を得、拒否する場合には削除し確認後に閲覧へと導く。
- ・SNS 利用等、情報リテラシーの向上及び情報モラルについて、職員間内で確認し、担任より学生へ問題事例等上げ周知できるようにする。
- ・学校評価の結果と対策・対応について教職員で情報共有し、自己評価によって明らかとなった改善を必要とする事項に、できることから取り組む。

### <社会貢献・地域貢献>

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1

・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
--------------------------	---	---	---	---

①課題

- ・ 教育資源を活かした地域貢献の推進をする。

②今後の改善方策

- ・ 本校教育資源に対する地域社会の要望を集約する機会を生み出していく。

③ 特記事項

- ・ 地域が企画運営する行事等に、学生ボランティアが積極的に関わり貢献している。
- ・ 月に1～2回地域ボランティア（空き缶、ごみ拾い等）を実施、また街頭監視に参加し、地域貢献のための方途を模索し続ける姿勢を大切にしている。しかしながら、今年度はコロナ禍の為一部実施できていない。

## V 総合的な評価結果

昨年度からの改善により、各取り組み状況については「適切」「ほぼ適切」と評価できる。

今年度は、昨年度に引き続きコロナ禍の状況であるため、様々なストレス等も出現する可能性もあることから、担任・副担任による面接等で、学生の変化には気付くことができるように細心の注意を払っている。しかし、表出できず経済面・精神面などで一人悩んでいる学生がいる可能性もある。そのため、今以上に相談しやすい環境作りを職員全員で努めていく。

さくら学園の教育活動の根幹である校訓「誠心<sup>まごころ</sup>」を全職員・全学生で大切にし、一人一人の学生に寄り添った、きめ細かく丁寧な指導をおこない、卒業時には心豊かで自律心に富み、社会に貢献できる人材に成長できるよう努めている。関係施設・園からも「即戦力となり、必要な存在」と称賛されている。今後も一人一人としっかり向き合い、学生に合ったきめ細かな教育に取り組んでいく。

全教職員で、全ての学生（留学生を含む）に誠実に対応し、学生自身が自ら考え行動できるよう教育環境を整え、評価結果を真摯に受け止め、時代のニーズに応える職業教育を継続していく。

学校法人 さくら学園  
慈恵福祉保育専門学校